

土木、建築技術PR 福井でフェア開幕



建設や土木の最新技術、商品など展示したフクイ建設技術フェア＝8日、福井市の県産業会館

62企業・団体が出展

土木、建築の優れた技術や製品を紹介する「フクイ建設技術フェア2021」（福井新聞社後援）が8日、福井市の県産業会館で始まった。建設ICT（情報通信技術）や環境・エネルギーなどの分野に分かれ、最

新の製品や工法をアピールしている。9日まで。県建設技術公社などで行く実行委員会が主催。13回目となる今年も、62企業・団体が、▽建設ICT▽再生・保全▽防災・減災▽福井の技術などをテーマに81

のブースを出展している。環境意識の高まりを受け、基礎工事のABコーポレーション（福井市）は間伐材を杭として使う地盤補強技術を提案。地下を汚染しないため、鉄やセメント杭のように解体時に除去する必要がない点などをPRしている。

建設コンサルタントのジビル調査設計（福井市）は、橋梁点検支援ロボットを紹介。橋上のロボットからカメラ付きのアームを伸ばすことで目視を行わずにひびの有無を点検できるほか、ロボットは幅95センチと小さく、交通への影響が少ない点を強調している。

フェアでは昨年に引き続きオンラインの企業出展も開催しており、来年4月29日まで各企業が動画などで技術を紹介している。オンラインサイト <https://www.fk-kosha.or.jp/koueki/fair.asp>

（青木孝浩）